

□議員名：森山喜久

## 1 職員のワークライフバランスについて

論点	職員の健康管理、職場の点検、メンタルヘルス、パワハラ対策について問う。
回答	職員の健康管理については、定期健康診断、ストレスチェックを行い、職員の心と体の両面から、健康管理に取り組んでいる。 職場環境を整備するため衛生委員会で職場環境の点検シートをもとに職場点検を行い、その後の改善につなげている。 パワハラ対策は、今年度職員を対象にアンケート調査を実施した。

論点	業務量に見合った適正な人員配置、業務内容に適した人材配置について問う。
回答	働き方改革の推進として、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現等、働きやすい職場環境の整備が求められているため、これらを踏まえた組織体制づくりを行っている。職員の配置については毎年人事ヒアリングを行い、業務量や業務内容について聞き取りを行いながら、必要な人員、人材の配置に努めている。

## 2 地方卸売市場について

論点	小野田中央青果は元々30万の差入保証金を出していたが、平成25年度には1,030万円になった。今年度の行政報告資料では差入保証金は1,750万まで増えている。今までも指摘してきたが、財務の健全性を損なっているのではないか。
回答	一般論で申せば、資本金2,000万円の会社が2,000万近くの差入保証金を出すことは、ちょっとまずい状況だと認識はしている。

論点	小野田中央青果は、平成25年度に市から補助金を受け取り、その一方で差入保証金1,000万円をある業者に出している。このことは当時の取締役が知っていて市に言わなかったのか、それとも知らずに補助金を出したのか。小野田中央青果の責任はどうか。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

回答	<p>もしも、当時の取締役会においてこの差入保証金について議論がなかったということであれば、ゆゆしきことだと思う。速やかに調べたい。</p>
----	------------------------------------------------------------------------

論点	<p>条例改正で、売買参加者の承認要件が不十分である。なぜ、他市場と同じ条文の改正にできなかったのか。市が付度したのか。</p>
回答	<p>来年6月の改正市場法の施行のときに、大幅改正を予定している。取り急ぎ決めておかなければならないことについて条例改正した。</p> <p>12月議会で青果販売は廃止の方向で検討していると回答しており、今回は御指摘の条文を含めていない。</p>